

リブ・イン・ピース・アット・カフェ
シリーズ憲法と自衛隊 その1

すでにアブナイ自衛隊 9条改憲で何を狙うのか？

日時 9月3日(日)
午後1時半から4時半
場所 天王寺区民センター第3会議室
(地下鉄谷町線「四天王寺前」駅下車)
資料代 100円



自民党は10日の衆参両院閉会中審査への稲田元防衛大臣の出席を拒否し、PKO日報隠蔽の責任問題をうやむやにするつもりです。加計、森友問題でも安倍夫妻をはじめ最重要の証人、証拠提出を拒否しています。首相を先頭にした利権の私物化と隠蔽体質という安倍政権の本質は何ら変わっていません。安倍首相は、超低空の支持率を配慮して改憲について「日程ありきではない」と発言しましたが、傲慢な力づく路線を表面上修正しただけで、依然任期中の憲法改悪を追求しています。私たちは改憲には絶対反対です。

安倍首相は憲法9条に自衛隊合憲項を追加する形で改憲することを5月に提起しました。今もその線で自民党案が作られています。しかし、市民の目を欺き反対を弱めるための欺瞞にすぎません。なぜなら合憲とされるのは、マスコミが賛美するような災害救助や防衛の自衛隊ではないからです。自衛隊そのものが集団的自衛権と戦争法以降、全く違ったものになっています。全面的な戦争や海外派兵が前面に出てきています。中国の軍事的封じ込めを戦略に日米で共同戦争を想定し、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)に対する米の先制攻撃の戦争にも参加し、国際的な多国籍軍型(イラク戦争型)の戦争には後方支援や機雷封鎖解除などの形で参加し、武力行使を前提に国連PKOに参加していこうとしています。私たちは「専守防衛」の自衛隊も違憲であると考えますが、今の自衛隊の姿はそれとは比較にならない危険性を持っています。

リブ・イン・ピースでは、今日の自衛隊の極めて危険な現状をしっかりと知ることから9条改憲批判を始めたいと考え、数回のシリーズで学習と議論をします。是非ご参加下さい。

リブ・イン・ピース☆9+25

TEL090-5094-9483 <http://www.liveinpeace925.com> Email liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp